

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)

【公開番号】特開 2001-81404 (P2001-81404A)

【公開日】平成 13 年 3 月 27 日 (2001.3.27)

【出願番号】特願 平 11-263782

【国際特許分類】

C 0 9 D 183/04 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 183/04

C 0 9 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 (A) 下記一般式 (1)

$(R^1)_n Si(OR^2)_{4-n} \cdots (1)$

(式中、 R^1 は、2 個存在するときは同一または異なり、炭素数 1 ~ 15 の 1 価の有機基を示し、 R^2 は、同一または異なり、炭素数 1 ~ 5 のアルキル基、炭素数 1 ~ 6 のアシル基またはフェニル基を示し、 n は 0 ~ 2 の整数である。) で表されるオルガノシラン、

(B) SiO 結合を有し、重量平均分子量が 300 ~ 100,000 のシロキサンオリゴマー、ならびに

(C) チタン酸化物、ジルコニウム酸化物およびスズ酸化物を含む金属酸化物の、微粒子および/またはゾル

を含有することを特徴とするコーティング組成物。

【請求項 2】 (A) オルガノシランの構成が、 $n = 0$ のオルガノシランが 0 ~ 80 モル%、 $n = 1$ のオルガノシランが 5 ~ 100 モル%、 $n = 2$ のオルガノシランが 0 ~ 80 モル%である請求項 1 記載のコーティング組成物。

【請求項 3】 (A) オルガノシランの構成が、 $n = 1$ のオルガノシランが 100 モル%、あるいは、 $n = 1$ のオルガノシランが 40 ~ 95 モル%で、かつ $n = 2$ のオルガノシランが 60 ~ 5 モル%である請求項 1 または 2 記載のコーティング組成物。

【請求項 4】 (A) 成分と (B) 成分との使用割合が、(A) 成分 5 ~ 95 重量%、(B) 成分 95 ~ 5 重量%〔ただし、(A) + (B) = 100 重量%〕である請求項 1 ~ 3 いずれかに記載のコーティング組成物。

【請求項 5】 (C) 成分の使用量が、(A) ~ (B) 成分の合計量 100 重量部に対し、固形分で、0.5 ~ 500 重量部である請求項 1 ~ 4 いずれかに記載のコーティング組成物。

【請求項 6】 さらに、(D) 上記 (A) 成分を構成するオルガノシランおよび上記 (B) シロキサンオリゴマーの加水分解・縮合反応を促進する触媒を含有する請求項 1 ~ 5 いずれかに記載のコーティング組成物。

【請求項 7】 さらに、(E) 下記一般式 (3)

$R^{10}COCH_2COR^{11} \cdots (3)$

〔式中、 R^{10} は同一または異なって、エチル基、 n -プロピル基、 i -プロピル基、 n -

ブチル基、*sec*-ブチル基、*t*-ブチル基、*n*-ペンチル基、*n*-ヘキシル基、シクロヘキシル基、およびフェニル基から選ばれた炭素数 1 ~ 6 の 1 価の炭化水素基を示し、 R^{11} は炭素数 1 ~ 6 の 1 価の炭化水素基のほか、メトキシ基、エトキシ基、*n*-プロポキシ基、*i*-プロポキシ基、*n*-ブトキシ基、*sec*-ブトキシ基、*t*-ブトキシ基、ラウリルオキシ基、およびステアリルオキシ基から選ばれた炭素数 1 ~ 16 のアルコキシル基を示す。) で表される -ジケトン類および -ケトエステル類、カルボン酸化合物、ジヒドロキシ化合物、アミン化合物、ならびにオキシアルデヒド化合物からなる群から選択される少なくとも 1 種、を含有する請求項 1 ~ 6 いずれかに記載のコーティング組成物。

【請求項 8】 さらに、(F) シリカおよび / またはアルミナを含有する請求項 1 ~ 7 いずれかに記載のコーティング組成物。

【請求項 9】 請求項 1 ~ 8 いずれかに記載のコーティング組成物から得られる塗膜を有することを特徴とする、硬化体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

(B) 成分の市販品には、三菱化学(株)製の MKC シリケート、コルコート社製のエチルシリケート、東レ・ダウコーニング社製のシリコーンレジン、東芝シリコーン(株)製のシリコーンレジン、信越化学工業(株)製のシリコーンレジン、ダウコーニング・アジア(株)製のヒドロキシル基含有ポリジメチルシロキサン、日本ユニカー(株)製のシリコーンオリゴマーなどがあり、これらをそのまま、または縮合させて使用してもよい。

本発明において、(B) 成分は、単独でまたは 2 種以上を混合して使用することができる。